

2023

7/29 sat.

# Masayo Ishigure

East meets West

— 懐かしい未来 —  
邦楽を海外に届けるという使命を託され  
渡米30年  
今、日本・ふるさと岐阜にこそ  
再び伝え続けたい～懐かしい未来のために



Special  
guest

Masayo Ishigure with Arico Special Live & Dinner  
East meets West ~NY-京都-岐阜 懐かしい未来へ~

出演: Masayo Ishigure 石樽雅代(琴、17弦琴、20弦琴、地唄三味線奏者)  
スペシャルゲスト: Arico 山下有子(ピアニスト&作曲家)

■昼の部 定員30名 (事前予約が必要です)  
料金 税込 6,000円 (冷茶と和菓子付)  
ライブ 14:00 開演(受付開始13:00)/後楽荘 燈くら

■夜の部 定員25名 (事前予約が必要です)  
料金 税込 16,000円 (オー・エ・セルのフレンチ・ミニコース付)  
ライブ 17:00 開演(受付開始16:00)/後楽荘 燈くら  
お食事 18:30 ~ 後楽荘のお部屋にて

※駐車場に限りがありますので、公共機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

◎受付後、開演までのお時間で、ご希望により後楽荘の茶室や庭園をご案内いたします。  
◎夜の部の当日キャンセル及び連絡なくご欠席の場合、規定の料金が必要になります。  
◎諸般の事情により、予告なく内容の変更や中止となる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

■主催 一般社団法人長良川リトリート  
■共催 後楽荘  
■協賛 サンメッセ株式会社 furuta & associates

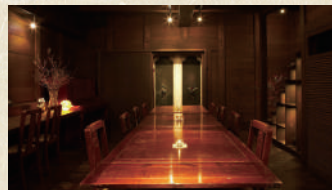
スペシャルゲスト

Arico



Arico Profile

ピアニスト&作曲家  
岐阜市出身。1歳前後から父親の手ほどきによりピアノで遊び始める。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ科卒業。1999年、辻仁成監督映画「千年旅人」サウンドトラック「kanata」でメジャーデビュー。CD「image2」「冷静と情熱のあいだ」「二人のピーターズレストラン」他、多数リリース。





## Masayo Ishigure 石樽雅代

琴、17弦琴、20弦琴、地唄三味線 岐阜市出身。沢井忠夫、一恵、岡田育子に師事。  
高崎芸術大学音楽科邦楽部(琴、三弦)を卒業後、両氏の内弟子となる。  
1992年 コネチカット州のウエスリアン大学音楽部、2001年コロンビア大学琴、三味線の指導。  
2005年 巨匠ジョン・ウィリアムス氏の作曲による映画「SAYURI/さゆり(Memoirs of Geisha)」のサウンドトラックのレコーディングをイツァーク・パールマン、ヨーヨー・マ各氏らと共に行う。  
2007年 Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出  
2016年 6月 琴三味線の演奏活動を通じ、長年の米国における日本文化の紹介に尽力、日米間の相互理解及び、友好親善促進に貢献した功績により、ニューヨーク領事館より在外公館長表彰を受賞  
2016年 「ニューヨークで活躍する女性5人」に選出  
2019年 岐阜サラマンカホールにて『日本。ふたたび琴と尺八』の公演  
2023年 4月 在米30周年記念リサイタルをカーネギーホールで開催  
伝統と現代の間でより根源的な視点より筆を見つめ、自由な発想と感性で筆の音楽を追究している。  
ニューヨーク マンハッタン在住 石樽雅代 琴三味線アンサンブル「MIYABI」主宰



<https://www.masayoishigure.com>

## French Restaurant Eau et sel (オー・エ・セル)

日本人特有の季節感を大切に、四季の変化を食材と色で表現したお料理など、フランス料理の伝統に即しながらも、日本人らしい繊細な感性が加えられたオー・エ・セル。今回、代々受け継がれた後楽荘の建築美とコラボレーションしたオー・エ・セルのフレンチ(ミニ・コース)をお楽しみください。<https://www.eauetsel-restaurant.net/>



### 後楽荘について

江戸時代後期、初代・矢野嘉右衛門が蠟燭・油商として「伊勢嘉商店」を興し、明治の後期、風流人であった四代目より築造された茶席、600坪に及ぶ広大な日本庭園など、歴史が息づく岐阜の迎賓館です。日本古来の文化や伝統、暮らしの「和の美・用の美」を大切に受け継いでいます。



長良川リトリート  
NAGARAGAWA RETREAT

### 「懐かしい未来のために」

～Innovation inspired by Nature～

わたしたちが目指すのは、取り戻したい“持続可能な懐かしい未来づくり”

長良川の名前の由来は、長く良い川。かつては日本中に当たり前に数多く存在していた「長くて良い川」が、時を経て今、岐阜県にだけ残っていることをご存知でしょうか？ そんな唯一無二の長良川という素晴らしい自然の恵みに活かされてきた私たちだからこそ、この場所から世界に向けて発信し、創り出したい「未来」があります。

長良川リトリートは、心身をリセットし、新しい自分として再スタートするきっかけづくりはもちろんのこと、活動を通じて、循環型・再生型社会の実現を目指していきます。長良川リトリート、言い換えれば、それはロンググッドなヴィジョンの体現による「リジェネレーション」と「創造的な持続可能性」を創り出すこと。今こそ、38億年の自然の叡智に耳を傾け、心を開き、目をこらして、五感を解き放し、生きとし生けるものとのつながりを取り戻すとき。

どんなにDXが進んでも、自然の力は私たちの想像を遥かに超えたメカニズムのなかにあるのです。

長い年月で培った自然界の存在と叡智に敬意を払い、傲慢にならず、経済システムや小さな人間社会のしがらみに固執せず、時に黙想し、学び、対話し、感謝し、交換しあう…そんな多様な社会実験と実装の場にもつなげていきます。

夢と願いを持って、大地の懐かしい香りとともに長良川のように長く良く。

一般社団法人長良川リトリート  
代表理事 COO 古田菜穂子  
代表理事 CEO 田中 信康

<https://www.nagaragawa-retreat.or.jp>